

編集後記

5月(皐月)は風薫る新緑が美しく梅雨前のとても過ごしやすい時期です。新型コロナウイルス感染症の拡大で、“stay home”が合言葉となっております。先生方は診療において有形無形のストレスを感じておられる事と思いますがご自身、職員の皆さんの健康管理に気を付けられて頑張ってください。

誌上ギャラリーは、有馬義孝先生から鶴丸城を象徴する存在の御楼門を“威風堂々”というタイトルでいただきました。薩摩藩が帰ってきたようです。

役員・代議員等の改選で新しい方々が決まりました。上ノ町会長からは会長候補者所信表明を寄稿していただきました。今後2年間の任期でご活躍いただきたいと思います。

学術は、今給黎総合病院消化器内科奈良博文先生から「スキルス胃癌と鑑別困難であったアニサキス症の1例」を投稿していただきました。鑑別診断として考慮する疾患を提示していただき有難うございます。

医師会病院だよりは、下川原尚人先生から消化器内科の紹介の投稿をいただきました。病棟医が4人体制となり、急患のお断りがかなり減少し、ここ数年は入院・外来の患者数、内視鏡検査・治療数が増加しています。医師会病院の週間診療案内と外来スケジュール表を掲載しております。ご確認いただき今後ともご紹介を宜しくお願い申し上げます。

切手が語る医学は、古庄弘典先生から「偉人アレクサンダー・フレミング」を寄稿いただきました。細菌学者で世界発の抗生物質ペニシリンの発見者です。いつも貴重な切手をご紹介いただき有難うございます。

リレー随筆は、鹿児島県立始良病院の今村研介先生から、忠犬「マリン」の写真と一緒に寄稿していただきました。ペットをお持ちの先生方が、同じような愛着を彷彿させる素敵な文章です。

区長・支部長の交代の時期で、区長の中村砂登美先生、重森雅彦先生、平川信之先生、支部長の上野博史先生、北葉月先生、

植村健吾先生、關根さおり先生、榮樂信隆先生、川原元司先生、豊島光雄先生から退任の挨拶をいただきました。ご多忙であった事と存じます。有難うございました。

新任の区長の久保秀通先生(上町支部長を併任)、寺口博幸先生、本木下亮先生(武岡支部長を併任)、島田辰彦先生、楊昌樹先生(再任)、支部長の島田隆太郎先生、中江弘三郎先生、久松憲明先生、堀剛先生、藤島弘光先生、鮫島久子先生、松枝秀樹先生からご挨拶をいただきました。これから宜しくお願い申し上げます。

理事会の概要、委員会報告、学校保健活動、健康教育活動、令和2・3年度区長・副区長と令和2年度支部長・副支部長、各種委員、令和2・3年度市医師会代議員・予備代議員の紹介をご覧ください。

附属施設だよりは、医師会病院の2月の診療・収支実績です。職員一同頑張っておりますので、今後ともご紹介を宜しくお願い申し上げます。検査センターの2月の実績と1月の収支実績です。検査センターは現在改築中ですが、会員の先生方に確実な検査結果をスピーディーにご報告できるように努力いたしております。

職員業務分掌表を掲載しましたので、ご質問・ご意見等いつでもご連絡をいただけますと幸いです。

鹿市医郷壇の題吟は「連休」です。時節にフィットした郷句を投稿いただきました。素晴らしい作品が並んでおります。郷句の作るコツを樋口一風先生に特別に寄稿していただきました。多くの作品の投稿をお待ちしております。

新型コロナウイルス感染症は、世界的に少し収束の方向に向かっているのではと希望的観測をしております。他国と比較して強制力のさほど強くない日本の緊急事態宣言ですが、秩序をきちんと順守する国民性に依存するところが大きいかと思います。連休明け2週間で日本での感染拡大が収束の方向に向かうことを祈念しております。

(副編集委員長 帆北 修一)